

The Topics

北海道

北海道大学

HOKKAIDO UNIVERSITY

伝統ある総合大学の教育・研究を支える キャンパスの施設・環境整備。

北海道大学は、130余年の歴史をもつ国立大学法人であり、12の学部、大学院、専門職大学院、法科大学院、附属研究所等が設置され、学部生・院生を合わせて約1万8千人の学生を擁する。札幌キャンパスは1,776,248㎡の広大な構内を持ち、中央、南、北の3ゾーンにから成る。近年の、新たな教育・研究のあり方への対応や少子化、そして施設の老朽化などを背景としたキャンパス再編において、こうした歴史ある大規模な総合大学は、どう取り組んでいるのだろうか。

施設・環境整備面においては、現在、(1)持続可能な発展 (2)学術的な革新を支える環境づくり (3)卓越した学術研究

の基盤整備 (4)施設・環境マネジメント の4項目を目標として掲げる。そして「施設・環境計画室」を中心に、キャンパス全体を見据えながら“古くなったから新しくするのはない”考え方に則って、移設や入替なども活用した改修・新築が進められている。新たな基金の創設や民間資金の導入などの資金繰りをはじめ、学部ごとに課せられた施設の有効活用の促進、講義室などの共用利用率の向上、改修によって施設劣化を抑制し資産価値の保全を図るなど、様々な工夫を講じている。こうしたキャンパスの施設整備について、学部施設の状況を一例として紹介する。

獣医学部



講義室 / テーブル:CTN2、イス:ルッシュ

医学部

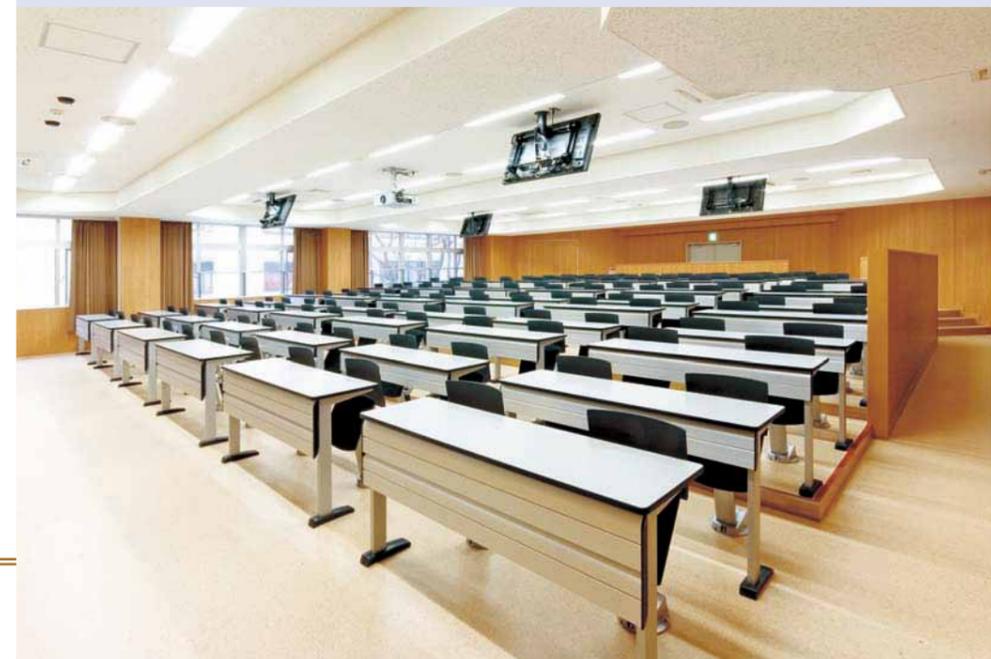
新設と改修の
バランスを考慮した
動的施設整備計画。



学生会館フラテ ホール / ホール用シート:ATS-1105DR-TA/APS特注品 280席



講堂 / ホール用シート:ATS-1108DR-TA/APS特注品 200席



図書館棟 第1・2講堂 / 講義デスク・イス:SCF-5505



講義室 / 講義デスク・イス: SCF-5505

高等教育推進機構

安全で良好な学修環境を整えるために老朽化施設を改修。



講義室 / デスク: SCM-300、イス: ルッシュ



大講義室 / 固定席 講義デスク・イス: SCF-5505
移動席 テーブル: CTN2特注品、イス: SCM-5505C

環境科学院



講義室 / テーブル: CTN2、イス: プレアデス



講義室 / 講義デスク・イス: SCF-1507

工学部

学部ブロックでの共有化や利用率をアップするために改修。



若手研究者交流室 / テーブル: CTN2、イス: アイバグ

理学部

大学院重点化を推進するために教育研究スペースを充実。



セミナー室